

「私たちにしかできないこと」

声をかけるといつも笑顔で応えてくれるYさん。

若くして若年性アルツハイマーを発症したYさんは、

ある日「私、アルツハイマーなんだって」

「私、ダメなんだって」「怖いよ」と、

私の肩で泣かれました。

最近では、自分が認知症であることも

忘れていくかもしれません。

でも、私はあの日のYさんを

忘れることはありません。

Yさんの悲しみや、辛さ、あの涙を

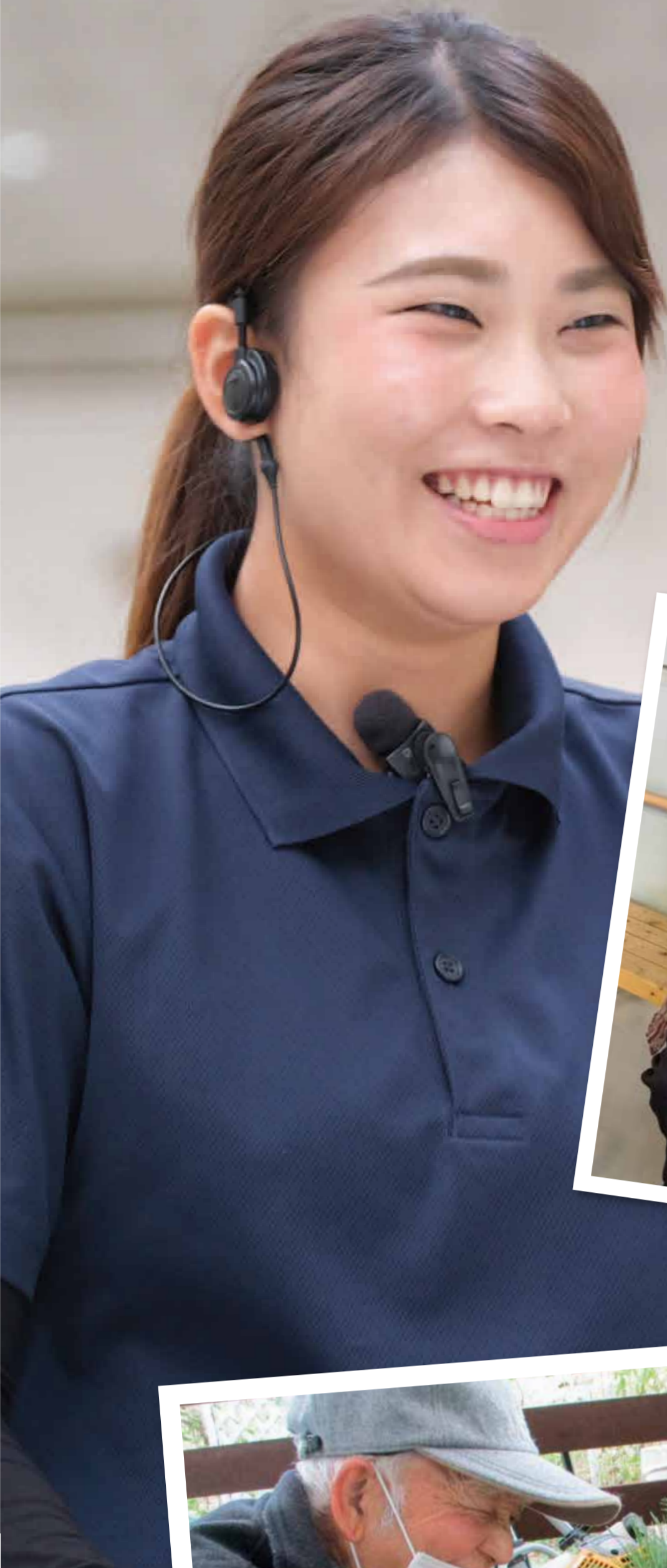
私は代弁していく約束をしました。

声なき声に耳を傾け、

その人の代弁者となる、

私たちにしかできない仕事ですから。

〔エピソード部門〕最優秀賞



〔写真部門〕優秀賞  
「100歳と0歳がこんにちは」



〔写真部門〕最優秀賞  
「わしに任せろ！門松作り」



〔写真部門〕優秀賞  
「マスクをしてもいつもの笑顔」

# 介護は、 感謝を もらえる 仕事。

「おばあちゃんときなごはん」

僕のおばあちゃんは、もう九十六才、

今は認知もあり、面会してもぼくのことは、

顔を見ても「どなたさん？」と言います。

食のほうも細くなり、ごはんのうえにきなごをのせて、

介護職員さんに食べさせてもらっています。

食べる時にきなごがこぼれますが

笑顔になって食べている様子が

なんともほほえましく、

昔の家にいたころを思い出します。

秋晴れの空の下、車イスで散歩している様子も

介護職員さんからよく耳にしていました。

よくしてもらってありがとうございます。

きなごはん好きでいてね！

〔感謝の手紙部門〕最優秀賞

